2022年　10月　1日　No.239　　発行責任者　田中　孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第239号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

郵政最賃加算額

20円を100円にせよ

今こそ郵政最賃の大幅な引上げを

10月から地方最賃が改定され、東京の郵政最賃は1100円、埼玉は1010円になります。外務はこの金額に130円加算されます。

生活改善に向け6項目の要求書提出

これでは生活改善にならないとして郵政ユニオンは8月30日、「時給制契約社員の最低賃金引上げに関する要求書」を日本郵政グループに提出しました。内容は全国一律1500円に引き上げること、加算額20円を100円に引き上げること等です。

これに対し本社は9月9日、この数年各種改定してきた内容を述べるものの、今回の具体的な要求に答えることなく「今後とも、必要に応じ検討を行っていくこととしたい」としています。

最賃加算額13年変わらず

郵政で働く非正規社員は、郵政の給料だけで生活している人が多く、勤続5年を超える人が大半です。

郵政最賃は2009年から地域最賃＋20円となってから10年以上改定されていません。業務量、業務内容は以前に比べて複雑化しています。その変化に見合った金額になっていません。

この郵政最賃を改善するために、加算額を100円に引き上げるよう求めるのは当然です。

低い所得の人ほど負担割合が高い

今の異常な物価高は私達の生活を直撃しています。専門家は、この物価高で年間の負担は2人家族で7万円余としています。私達が普通の生活ができるようにするためには全ての郵政労働者の大幅賃上げ、底上げが必要です。

会社は社員の頑張りに目を向けて賃金の底上げをするべきです。

「国葬」強行に抗議

9月27日、安倍元首相の国葬に抗議する国会前集会に15000人参加しました。「憲法違反の国葬反対」「16億6000万円の税金は国民のために使え」等の声をあげました。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか